



▲レッドクリフ高校の生徒とともに

青少年の多感な時期に、海外生活を経験し、国際感覚を培うことを目的に、毎年、夏休みに行われている「中学生海外派遣事業」。14回目となる今年も、7月25日から8月8日の二週間にわたり、市内在住の中学生6人が姉妹都市のオーストラリア・レッドクリフ市に派遣されました。異文化の中で、当初は戸惑いを隠せなかった6人ですが、やがて言葉の壁も乗り越え、レッドクリフ市の人々と親交を深め、元気に帰国しました。

ここに、派遣生の帰国報告書をご紹介します。貴重な体験をした6人にとって、人生の転機となるような二週間だったようです。

【担当】市民活動推進課 ☎ 82-1134

中学生海外派遣 帰国報告

レッドクリフ市って どんなところ？



レッドクリフ市はオーストラリアクィーンズランド州にあり、オーストラリア第3の都市であるブリスベンの北23kmに位置し、三方をモルトン湾に囲まれた半島の都市です。旧小野田市とは、市内の高校に来た留学生が縁で、両市の交流が始まり姉妹都市提携をしました。レッドクリフ市は、海岸の趣と眺望を生かしたリゾート地で、水産業・商業・軽工業が盛んです。(人口:52,000人 面積:35平方キロメートル)



「レッドクリフは
第二のふるさと」

こうき
山本光輝
(植生中2年)

実際にホームステイ(※1)してみてもっと英語の勉強をしておけばよかったと思いました。初めて、ホストファミリー(※2)の方と対面したとき、緊張して、英語を聞き取ることができませんでした。それからオーストラリアの英語に慣れるのに、かなり時間がかかり、最初の2日くらいは辞書を使って何とか自分の意思を伝えようと努力しました。慣れてからは少ししゃべれるようになり、自分なりに英語力が少しはついたと思います。このホームステイ体験をこれからの人生に役立てるようがんばりたいです。僕はレッドクリフ市を第二のふるさととして、いつか、今度は自分の力でレッドクリフ市に行けるよう努力します。

(※1 現地の人の家で、寝食をともにすること)

(※2 生徒を受け入れてくれる現地のご家庭)